



## 「つるつる路面の歩行体験」 イベント結果の速報

「2005 ふゆトピア・フェア in 旭川」が、2月3日(木)から5日(土)までの3日間、旭川市で開催されました。

「道の駅あさひかわ」では、旭川開発建設部と北海道開発土木研究所が共同で体験イベント「つるつる路面の歩行体験」を実施しました。

道内外の多くの方が実際に様々なつるつる路面を歩き、冬道の歩きやすさの違いや、すべり止め材の効果などを実感していただきました。

また、最終日の5日は土曜日とあって、多くの家族づれが訪れ、特に超つるつる路面を再現した「体験ひろば」では、多くの子供たちが楽しくつるつる路面を体験しました。



### 来場者データ

3日間の来場者総数<sup>(※1)</sup>は、当初予定の500人を大きく上回る**730**人で、最終日には300人近い来場者がありました。



(※1 体験者、見学者、体験ひろばの子供を含む)

つるつる路面を体験した人<sup>(※2)</sup>の8割近くは、道内居住者でした。

居住地別の体験者数割合



(※2 体験コースを歩き、アンケートに回答した人)

### つるつる路面の歩行体験

体験コースでは、「路面が凸凹・平ら」、「道幅が広い・狭い」、「すべり止め材あり・なし」の組合せによる8つの“つるつる路面”を再現し、来場者にコースを実際に歩いてもらいました。

また、冬道での歩きにくさを感じさせる要因を把握するため、体験者を対象としたアンケート調査を実施しました。



北海道開発局・旭川開発建設部



(独) 北海道開発土木研究所